

デマンド型タクシーと空き店舗を利用した 高齢者に優しい公共交通

テーマ:住民主体による持続可能な公共交通の導入と
地域内交流活発化を目的とした空き店舗の利活用

鶴岡市藤島地域 八栄島・長沼地区について

- ◆ 鶴岡市内でも北端に位置し、生活圏が隣り合う市や町である人も多い。
- ◆ 民間交通事業者が撤退後に旧藤島町が町営バスを運行したが、継続可能な利用者数を確保することができず、2003年に廃止。それ以降は地域公共交通空白地域に。
- ◆ 藤島地域の買い物弱者対策や交流の拠点となることを目的にオープンした「ふじしまふれあいセンター」は、利用率の低迷から昨年9月に閉店した。

この地区に必要なもの

1. まちづくりと連動した公共交通網形成
2. 市民協働による持続的な公共交通体系の確保
3. 既存資源を有効活用した利用者ニーズへの対応
4. わかりやすく・使いやすい交通環境の確保

住民参加型の 取り組みを重視！

これからの地域運営や地域課題について意識を持ってもらうことを目的に住民参加型のワークショップを開催。地域の現状やデマンド型交通について話し合う機会を設け、また、生活圏調査の為にマッピング作業を学生と共同で行った。

アイデア実現までのプロセス

2019年		2020年			
6~9月	ワークショップの準備	1月	第1回アンケート調査	11月	利用アプリソフトの開発 及び企画と業者依頼
	アンケート内容の検討	3月	同市内の先進事例を現地調査		
9月	第1回ワークショップ	4月	第3回ワークショップ	12月	モニターテストと利用満足調査、協議会設立総会
11月	第2回ワークショップ	6~7月	ルートマップ及び時刻表の作成、広報戦略の調整		
	免許返納者への聞き取り調査		協議会設立に向けてのワークショップ	翌年2月	地区交通会議との調整、ルート許可申請事業
12月	アンケート内容の再検討			翌年4月	